

藤井光

主な個展

- 2024 「終戦の日／WAR IS OVER」丹賀砲台園地、大分
- 2021 「爆撃の記録」丸木美術館、埼玉
- 2019 「核と物」カディスト財団、パリ
- 2018 「第一の事実」ICP、ニューヨーク
- 2015 「饗宴のあと アフター・ザ・シンポジウム」東京都庭園美術館、東京
「歴史の構築は無名のものたちの記憶に捧げられる：青森市所蔵作品展」ACAC、青森
- 2009 「芸術、起源、デモクラシー」現代美術製作所、東京
- 2008 「NIKEPOLITICS」Galaxy Countach、東京
- 2007 「JSDF」遊戯室、東京

主なグループ展

- 2025 「Prelude: With a Heart Singing Stars」, SeMA (ソウル市立美術館)、ソウル
「ニュー・ユートピア——わたしたちがつくる新しい生態系」弘前れんが倉庫美術館、弘前
「第36回サンパウロ・ビエンナーレ、プレイベント、Invocations」、The 5th Floor、東京
「Safe Room」, MoCA (Museum of Contemporary Art), 台北
「Safe Room」, MoCA (Museum of Contemporary Art), 台北
「Reflection 11/03/11」, Landskrona Foto、ランズクルーナ (スウェーデン)
- 2024 「Engawa」Centro de Arte Moderna (CAM), リスボン
「Forgive Us Our Trespasses」Haus der Kulturen der Welt, ベルリン
「KADIST Videos at PAF Summer University」エーヌ (フランス)
「アルル国際写真フェスティバル2024」L'espace Van Gogh、アルル
「Nomadic」The Jim Thompson Art Center、バンコク
- 2023 「日本の戦争美術 1946」 (online)
「ワールド・クラスルーム」森美術館、東京
「All silence is a hidden space」The Cloisters Apartments、上海
- 2022 「Attention! Zombies」ACC (Asia Culture Center)、光州
「新潟映像祭」新潟市美術館、新潟
「Remembering / Forgetting: The Porous Nature of Memory」M+、香港
Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 受賞記念展 東京都現代美術館、東京
- 2021 「第10回アジアパシフィックトリエンナーレ」クイーズランド州立美術館、メルボルン

- 「Art and Democracy」, プラットフォームミュンヘン、ミュンヘン
「Quantum fields」 East Slovak Gallery、コシツェ (スロバキア)
「Mutable Ecologies (変容する生態系)」 (online)
「越境する意志/The Will to Cross Borders」四季の里/ 憩いの館、福島
「Welcome, Stranger, to this Place」東京藝術大学美術館陳列館、東京
「3.11とアーティスト:10年目の想像」水戸芸術館現代美術ギャラリー、水戸
- 2020
「Thank You Memory - 醸造から創造へ」弘前れんが美術館、弘前
「第10回麗水国際アートフェスティバル、Say The Unsaybles」麗水
「もつれるものたち」、東京都現代美術館、東京
「隈研吾展」東京国立近代美術館、東京
- 2019
「コントロールビエンナーレ9」Nonaアーツセンター、メヘレン
「あいちトリエンナーレ2019 情の時代」名古屋市美術館、名古屋
「Zero Gravity World, ソウル市立美術館、ソウル
「呼吸する地図たち」YCAM山口情報芸術センター、山口
- 2018
「カタストロフとアートの力」、森美術館、東京
「2018 Asia Project: How little know about me,」MMCA国立現代美術館、ソウル
「Fast Forward Festival 5」国立アテネ大学法学部、オナシス財団、アテネ
「マニラビエンナーレ: Open City」聖イグナシオ教会、マニラ
「トラベラー:まだ見ぬ地を踏むために」国立国際美術館、大阪
「虚実皮膜 - 日本の皮膚と肉体のはざま」イビラプエラ公園 日本館、サンパウロ
「シアターコモンズ '18」ゲート・インスティトゥート東京、東京
- 2017
「Japanorama. Nouveau regard sur la création contemporaine」, ポンピドゥーセンター、メス
「2nd Asian Film and Video Art Forum」国立現代美術館、ソウル
「日産アートアワード2017」BankART Studio NYK, 横浜
「Fast Forward Festival 4」カフェジャネイロ、オナシス財団、アテネ
「If only radiation had color. The Era of Fukushima (Proposition 1: Human Landscapes)」X and Beyond、コペンハーゲン
「シアターコモンズ'16」リーブラホール、東京
- 2016
「旗、越境者と無法地帯」トーキョーワンダーサイト本郷、東京
「その島のこと」てしまのまど、豊島
「FESTIVAL EKSTRAKURIKULABI」Gudang Sarinah Ekosistem、ジャカルタ
「六本木クロッシング2016 : 僕の身体、あなたの声」森美術館、東京
「MOTアニュアル2016 キセイノセイキ」東京都現代美術館、東京
- 2014
「地震の後でー東北を思うⅢ」東京国立近代美術館、東京
「記録と想起・イメージの家を歩く」せんだいメディアテーク、宮城
「白川昌生 ダダ、ダダ、ダ 地域に生きる想像☆の力」アーツ前橋、群馬
「Tomorrow Comes Today」国立台湾美術館、台中
「Move on Asia 2014: Censorship」Alternative Space LOOP、ソウル
「サイト・イン・レジデンス 2014」深谷通信所、神奈川
「Japan Syndrom」HAU, ベルリン
「3.11 映画祭」わわプロジェクト、3331 Arts Chiyoda、東京

- 2013 「山形国際ドキュメンタリー映画祭2013」山形
「六本木クロッシング2013」森美術館、東京
「After 3.11 Film Festival」星陵会館、東京
- 2012 「3.11とアーティスト:進行形の記録」水戸芸術館現代美術ギャラリー、水戸
「水と土の芸術祭 2012」万代島旧水揚場、新潟
- 2011 「自分たちのメディアを創る映像祭」監修 YCAM山口情報芸術センター、山口
- 2010 「Public Discourse Sphere, Aftereffects of Neo-liberalism」Alternative Space LOOP、ソウル
「LAST WORD」4A Center for Contemporary Asian Art、シドニー
「いま、バリアとはなにか」せんだいメディアテーク、仙台
「東京生活転回法」アサヒ・アートスクエア、東京
「リフレクション／映像が見せる“もうひとつの世界”」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
- 2009 「国際映像祭 オールピスト」東京日仏学院エスパス・イマージュ
「宮下公園サマーフェスティバル」宮下公園、東京
「ART ACTION 2009」ギャラリーマキ、東京
- 2008 「246表現者会議展」ベルク、東京
「Point」Alternative Space LOOP、ソウル
- 2007 「吉原治良賞記念アート・プロジェクト2008 入選展」大阪府立現代美術センター、大阪
- 2006 「怒濤のっ！あおもりアート商店街」昭和通り、青森
- 2005 「ARCUSオープンスタジオ」茨城
- 2004 「NewMix」Pascale Critonと共同制作、パレ・ド・トーキョー、パリ
「Gaïa」Pascale Critonと共同制作、国際哲学コレージュ、Auditorium de l'Institut Finlandais、パリ
「Festival Némó」Forum des images、パリ
「L'homme sans contenu」Ludik. Main d'œuvres、パリ
「Electronic Art」Athenes Municipal Gallery、アテネ
- 2003 「Objets parallèles」l'Ensemble 2e2m. Auditorium Saint Germain des prés、パリ
「Jouable.」同志社ローム記念館、京都
「Festival Kitchen」Gaité Lyrique、パリ
「Art contemporain Mulhouse」Parc des Exposition、ミュルーズ
「De l'apparence à l'apparition」Fabien Giraudと共同制作、Batofar、パリ

映画作品（長編）

- 2012 『プロジェクトFUKUSHIMA!』、アップリンク、国内外その他
- 2013 『ASAHIZA 人間はどこへ行く』、ユーロスペース、国内外その他
- 2017 『ピレウス/ヘテロクロニア』、Onassis Fast Forward Festival 4、アテネ、シアターコモンズ18、東京

レクチャー・パフォーマンス

- 2024 「歴史的現実」京都大学

- 「当意即妙—芸術文化の抵抗戦略」京都芸術センター、京都
- 2019 「コントロール・ビエンナーレ9」アーツセンター、メヘレン（ベルギー）
「あいちトリエンナーレ2019」名古屋市美術館、愛知
「Replaying the past」NTU CCAシンガポール、シンガポール
「厄災の記憶 その表象 可能性」いわき芸術文化交流館アリオス、福島
- 2018 「はま・なか・あいづ 文化連携プロジェクト」帰宅困難区域視察ツアー、福島
- 2010 「アワーストライキ」アサヒ・アートスクエア前広場、東京
「自分のメディアを創る」ワークショップ、YCAM山口情報芸術センター、山口

所蔵

- MMCA（国立現代美術館、韓国）
KADIST（フランス／アメリカ）
SeMA（ソウル市立美術館、韓国）
愛知県美術
国立国際美術館
東京国立近代美術館
東京都現代美術館
弘前れんが倉庫美術館
森美術館
長野県立美術館
新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 -

主なテキスト、論考、インタビュー

- 2024 「戦争を記憶すること・記録すること」藤井光、東京藝術大学未来創造センター、月曜社
「武器を手に取るアーティストを忘却してはならない」藤井光、世界6月号、岩波書店
「〈日本人の視線〉とレイシズム」藤井光、WEBマガジン Cultural Constructions of Race and Racism Research Collective、Social Science Research Council、アメリカ
- 2023 「LES NUCLÉAIRES ET LES CHOSES [NUCLEAR AND OTHER THINGS] インタビュー」
WEBマガジンPalm、ジュ・ド・ポーム国立美術館、フランス
「〈間離化せよ〉とロズニツァは言う、藤井光、WEBマガジンWORKSIGHT
- 2023 「萩原弘子『展覧会の政治学と「ブラック・アート」言説—1980年代英国「ブラック・アート」運動の研究—」藤井光、WEBマガジンART iT
- 2022 「BLMを芸術につなぐ」藤井光／西井涼子、《ブラック・ライヴズ・マターから学ぶ》東京外国語大学出版、2022)
- 2021 「続・解剖学教室」藤井光、現代詩手帖 2021年3月号、思潮社
「『原爆の図』前史」藤井光、美術運動 No.148、日本美術会機関誌
- 2020 「芸術のポリティカル・プラクティス」藤井光、新潮 2020年2月号、新潮社

- 「核と物」藤井光、《災害とアートを探る》、赤坂憲雄・編、玉川大学出版
- 「アーティストからの報告」藤井光／目 [me]、《地域アートはどこにある？》、堀之内出版
- 「『無常』戦時下における国策宣伝映画『国民道場』を再演する」藤井光、立命館生存学研究
立命館大学研究所 vol.4
- 「映画と美術のあいだ 日本と韓国の映像作品を中心に」藤井光／他、馬定延・編、明治大学
- 2018 「爆撃の記録」藤井光、《ソーシャリー・エンゲイジド・アートの系譜・理論・実践》
アート&ソサイエティ研究センター SEA研究会・編、フィルムアート社
- 「ARTIST INTERVIEW」藤井光／星野太=聞き手、美術手帖 2018年6月号
- 「人種神話と映像表象 『日本人を演じる』の試みから、藤井光、《『日本人を演じる』の衝撃
美術家の問い、人類学者の応答》、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 2016 「1ミリもずらさずに抵抗する」大谷芳久／藤井光、《あなたは自主規制の名のもとに検閲を
内面化しますか》、ARTISTS' GUILD+NPO法人芸術公社・編
- 「エステティック・コンディション 美学をかこむ政治や制度」藤井光／藤田直哉
《地域アート》藤田直哉・編、堀之内出版
- 2015 「カメラ位置と信仰、あるいは狂気」藤井光／酒井耕／濱口竜介／清水建人、《想起の方則》
ミルフィユ07、赤々舎
- 「危機的状況での表現問う」藤井光、《表現者たちの「3.11」震災後の芸術を語る》
河北新報社
- 2012 「自分たちのメディアを創る」藤井光、《メディアと活性》、細谷修平・編、インパクト出版社
- 「アワーストライキ」藤井光、《続・若い芸術家たちの労働》、吉澤弥生・編、2012
- 「集合知の時代 ソーシャル・ネットワークにおける映像の在り方」藤井光、
《ソーシャル・ドキュメンタリー》、フィルムアート社
- 2011 「アートと公共性」藤井光／清水知子（「アート・検閲、そして天皇」社会評論社
「天使を宙吊りにする紐を切れ」Critical Journal in Contemporary Art 『Na+』
「アーティストの労働と権利を考える」吉澤弥生・編、AAF school
- 2010 「映像を用いた"もうひとつ"の美術史」リフレクション展カタログ、水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2009 「いま、ここからの映像術 近未来ヴィジュアルの予感」藤井光、他、フィルムアート社

主な講演・講義、ワークショップ

オックスフォード大学

エコール・デ・ボザール（パリ）

東京藝術大学

武蔵野美術大学

多摩美術大学

東京造形大学

女子美術大学

京都市立芸術大学

東京大学

京都大学

一橋大学

鹿児島大学

同志社大学

立命館大学

神奈川大学

東京外国語大学

明治大学

武蔵大学

その他、国内外の美術館、文化芸術施設

受賞

Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022

日産アートアワード2017グランプリ

アーティスト・イン・レジデンス

2005 アークスタジオ（ARCUS）

2019 NTU Centre for Contemporary Art Singapore、シンガポール